

丹波市制 20 周年を PR する ロゴ・キャッチフレーズが決定



20 周年を PR するロゴに選ばれた作品

11 月 1 日に市制 20 周年を迎えるのに伴い、節目を PR するロゴとキャッチフレーズを発表しました。ロゴ、フレーズともに市職員から作品を募集し、ロゴ 10 点、フレーズ 20 点に絞られた後、オンライン等での市民投票を実施。ロゴは「ちーたん」がクラッカーを鳴らして節目を祝っているデザイン、フレーズは「丹波にずっと、丹波でもっと。丹波でほっと。」に決定しました。

今後、市が作るのぼりや横断幕、印刷物に掲載するなど、広報活動に活用されます。

氷上西高等学校 e スポーツ部がゲームを通じた 地域交流イベントを初開催



生徒に見守られながらゲームを楽しむ参加者（写真中央）

1 月 20 日、芦田集学校で氷上西高等学校 e スポーツ部主催の地域交流イベントが開催されました。会場には 2 台のモニターが並び、ゲームで遊ぶボウリングやパズル、ビリヤードなどが用意され、参加者は生徒から操作方法などを教えてもらいながら交流を深めました。

最高齢で 81 歳の参加者は「何事も体験してみることが大事。ゲームだが、体を動かして楽しむことができるので、今後は家でもやってみよう」と話しました。

令和 6 年能登半島地震 被災地での支援業務を報告

丹波市では 1 月 1 日に発生した「令和 6 年能登半島地震」の被災地支援のため、要請に応じて様々な部署から職員を派遣しています。

能登半島地震の被災地である珠洲市に 1 月 11 日から 16 日まで派遣されていた職員 2 人が帰任し、避難者の健康状態の確認や必要な物資の聞き取りなど、従事した活動について 1 月 19 日に、林市長へ報告を行いました。



林市長に被災地での活動を報告する藤井祐輔主査（写真中央）と小林幸介主事

友達とキャッチボールを！ 大谷選手のグローブが丹波市に届く

メジャーリーガーの大谷翔平選手が全国の小学校に寄贈するジュニア用の野球グローブが 1 月、丹波市に届き、市内各小学校に配布されました。

23 日の全校朝会でお披露目をした黒井小学校では、5 年生が昨年 4 月から大谷選手が実践していた目標達成シートを参考に、学校生活を充実させようとして取り組むなど、大谷選手の想いに触れてきました。

同小 5 年生の細見一瑠さんは「大谷選手を通して野球に興味がわきました。さっそく、友達とキャッチボールをしたい」と話しました。



グローブとメッセージカードを手にする児童ら

特集①：歴史文化
特集②：二十歳のこと
特集③：二十歳のこと
市政フラッシュ
市政フラッシュ
市長コラムほか
情報ひろば
お知らせ・募集ほか
情報ひろば
子育て関連情報
情報ひろば
相談・コラム
健康生活
環境
掲載・戸籍